


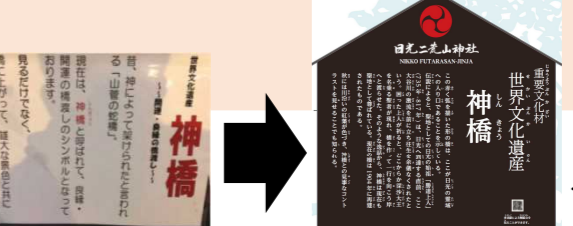


# 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備(多言語対応)

2018年度	2019年度		2020年度	2021年度以降
<p><b>観光地</b> 【国土交通大臣】</p>	<p>G20関係閣僚会合 ラグビーワールドカップ</p> <p>各地域(自治体、DMO等)においてニーズに応じて多言語(英・中・韓)の看板・案内を早急に整備すべきだが、主要観光地についてはモデル的に直ちに整備</p> <p>少なくとも50程度の主要観光地の整備 (無料Wi-Fi環境整備やキャッシュレス対応等とあわせて1観光地あたり5,000万円程度の補助を想定。1観光地あたり看板数十箇所程度の補助をイメージ)</p>  <p>&lt;デジタルサイネージ&gt; &lt;QRコードを駆使した観光案内板&gt;</p>		<p>オリパラ東京大会</p> <p>更なる対応(2021年までに100の主要観光地を抜本的に改善)</p>  <p>&lt;観光案内所における翻訳機器を用いた多言語対応&gt;</p>	
<p><b>交通機関(鉄道等)</b> 【国土交通大臣】</p> <p>観光庁長官が重点線区を改めて指定</p> <p>改正前の国際観光振興法では、鉄道182線区等を指定済み 改正国際観光振興法に基づき、項目を大幅に拡充 (改正前は多言語対応のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語対応(災害時対応含む)</li> <li>無料Wi-Fi環境整備</li> <li>トイレの洋式化</li> <li>クレジットカード券売機の設置</li> <li>交通系ICカード利用環境整備</li> <li>荷物置き場の設置</li> <li>インターネット予約環境の整備</li> </ul>	<p>各社が重点線区における多言語対応等の計画を策定</p> <p>国際観光振興法に基づき、各会社において多言語(英・中・韓)の看板・案内を整備。地域鉄道等においては国が支援</p> <p>観光庁は計画を公表。各社は計画に基づいて多言語対応等を実施</p> <p>計画が策定された重点線区のうち、地域鉄道等の公共交通機関について、少なくとも100線区が多言語対応を、無料Wi-Fi環境整備やキャッシュレス対応等とあわせて補助</p>  <p>&lt;車内及び駅における多言語表示&gt;</p>		<p>必要に応じて計画を変更し、引き続き多言語対応等を実施</p> <p>更なる対応(2021年までに全国300線区を抜本的に改善)</p> <p>&lt;タブレット端末にマイクを近付けての多言語放送&gt;</p>	
<p><b>文化財・国立公園</b> 【国土交通大臣・文部科学大臣・環境大臣】</p> <p>世界文化遺産8地域、国立公園12公園を含む42地域で実施 1地域あたり約30箇所の看板等を整備</p>	<p>各地域においてニーズに応じて多言語(英・中・韓)の看板・案内を整備すべきだが、観光資源としての価値が高い文化財・国立公園については、国が英語解説文の執筆・監修作業を行っている</p> <p>前年度からの継続を含め、世界文化遺産18地域、国立公園34公園を含む100地域の英語解説文を作成した上で、翌年度までに看板等を整備 1地域あたり60箇所程度で英語看板等を整備 (執筆・監修作業を効率的に行うため、事業工程は2期に分けて実施)</p>		<p>更なる対応 (世界文化遺産18地域、国立公園34公園を中心に2020年までに100地域以上で多言語解説を抜本的に改善)</p>  <p>&lt;多言語看板&gt;</p>	
<p><b>農泊</b> 【農林水産大臣】</p> <p>すでに、2017年度採択205地域のうち108地域で多言語対応を実施(2018年11月時点) 農泊地域の多言語対応を無料Wi-Fi環境整備やキャッシュレス対応等とあわせて2か年計画で国が補助(1地域あたり上限1,200万円を補助) 2018年度は147地域を採択済み。2019年度は約150地域を採択予定。</p>	<p>全国500箇所の農泊地域について順次、多言語(英・中・韓)の看板・案内の整備を実施</p>		<p>更なる対応(2020年までに全国500箇所の農泊地域で多言語対応を実施)</p>	

# 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備(無料Wi-Fi)

2018年度	2019年度		2020年度	2021年度以降
	<p style="text-align: center;">G20関係閣僚会合      ラグビーワールドカップ</p>		<p style="text-align: center;">オリパラ東京大会</p>	
<p><b>観光地</b> 【国土交通大臣】</p>	<p style="text-align: center;">各地域(自治体、DMO等)においてニーズに応じて無料Wi-Fi環境を早急に整備すべきだが、主要観光地についてはモデル的に直ちに整備</p>			
<p><b>交通機関(鉄道等)</b> 【国土交通大臣】</p> <p>全ての新幹線でサービスを開始 新幹線全駅で整備</p> <p>観光庁長官が重点線区を改めて指定</p> <p>改正前の国際観光振興法では、鉄道182線区等を指定済み 改正国際観光振興法に基づき、項目を大幅に拡充(再掲)</p>	<p style="text-align: center;">少なくとも50程度の主要観光地の整備 (多言語対応やキャッシュレス対応等とあわせて1観光地あたり5,000万円程度の補助を想定)</p> <p style="text-align: center;">国際観光振興法に基づき、各会社において無料Wi-Fi環境を整備。地域鉄道等においては国が支援</p> <p style="text-align: center;">新幹線のほぼ全ての車両に無料Wi-Fi環境を整備</p> <p style="text-align: center;">各社が重点線区における無料Wi-Fi整備等の計画を策定</p> <p style="text-align: center;">観光庁は計画を公表。各社は計画に基づいて無料Wi-Fi環境整備等を実施</p> <p style="text-align: center;">計画が策定された重点線区のうち、地域鉄道等の公共交通機関について、少なくとも100線区の無料Wi-Fi環境整備を、多言語対応やキャッシュレス対応等とあわせて補助</p>		<p style="text-align: center;">更なる対応(2021年までに100の主要観光地を抜本的に改善)</p> <p style="text-align: center;">必要に応じて計画を変更し、引き続き無料Wi-Fi環境整備等を実施</p> <p style="text-align: center;">更なる対応(2021年までに全国300線区を抜本的に改善)</p>	
<p><b>文化財</b> 【文部科学大臣】</p> <p>国立博物館(4館)・国立美術館(6館)全館で整備済み</p>	<p style="text-align: center;">全ての国立博物館・国立美術館において、無料Wi-Fi環境を整備</p>		<p style="text-align: center;">&lt;車内及び駅における無料Wi-Fi整備&gt;</p>	
<p><b>国立公園</b> 【環境大臣】</p> <p>原則全ての環境省ビジターセンター(71箇所)で整備済み</p> <p>新宿御苑(国民公園)のインフォメーションセンター等で整備</p>	<p style="text-align: center;">原則全ての環境省ビジターセンターにおいて、無料Wi-Fi環境を整備</p> <p style="text-align: center;">新設する全ての環境省ビジターセンター(4箇所)においても整備</p>			
<p><b>農泊</b> 【農林水産大臣】</p> <p>すでに、2017年度採択205地域のうち131地域で無料Wi-Fi環境整備を実施(2018年11月時点) 農泊地域の無料Wi-Fi環境整備を多言語対応やキャッシュレス対応等とあわせて2か年計画で国が補助(1地域あたり上限1,200万円を補助) 2018年度は147地域を採択済み。2019年度は約150地域を採択予定。</p>	<p style="text-align: center;">全国500箇所の農泊地域について順次、無料Wi-Fi環境の整備を実施</p>		<p style="text-align: center;">更なる対応(2020年までに全国500箇所の農泊地域で無料Wi-Fi環境整備を実施)</p>	

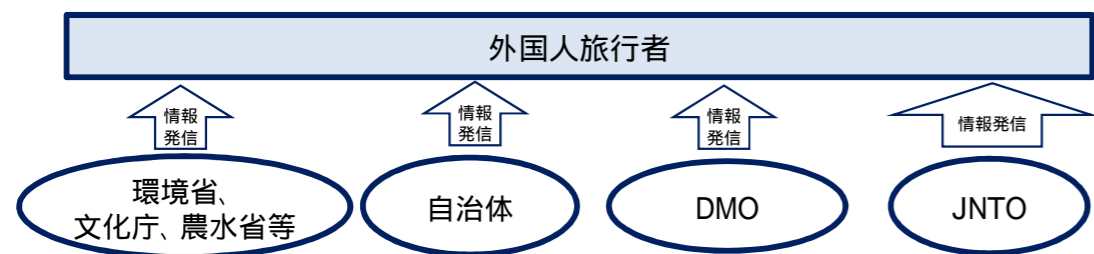
# JNTOによる一元的な情報発信

JNTOのウェブサイト等において文化財や国立公園、農泊等の魅力を一元的に発信

また、デジタルマーケティング(SNS投稿やビッグデータの分析・活用)により、効果的・効率的に情報発信

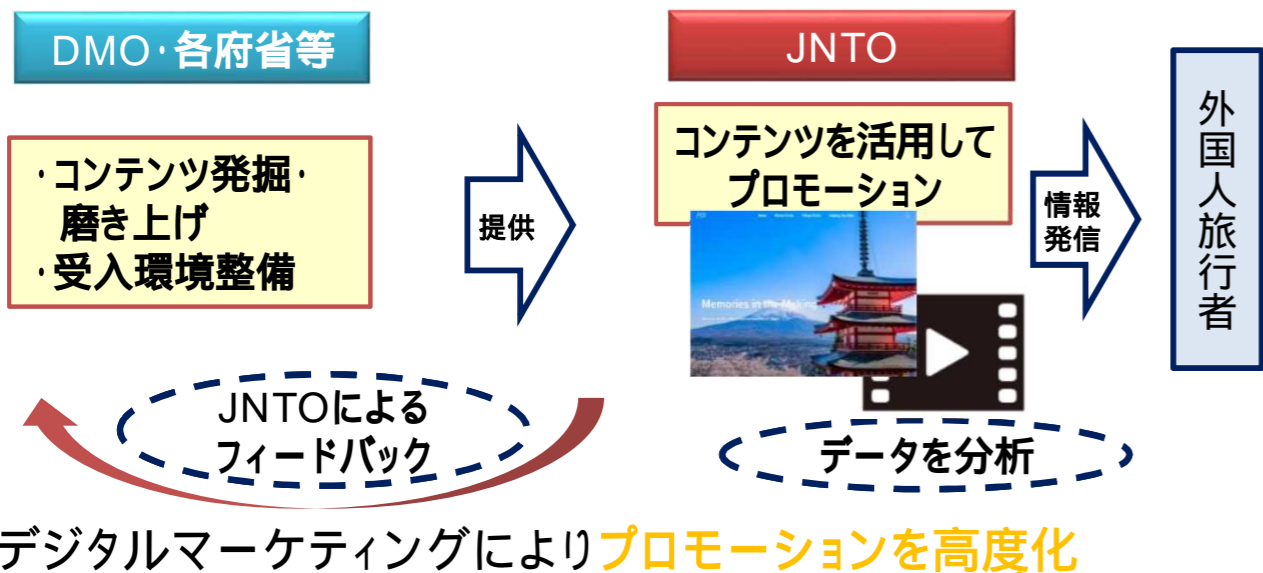
## 従来

関係省庁・自治体・DMO・JNTOそれぞれが情報発信



## 今後

JNTOで一元的な情報発信が可能な体制を構築



## 一元的な情報発信の取組例

### 国立公園【環境省】



特設ページでの情報発信

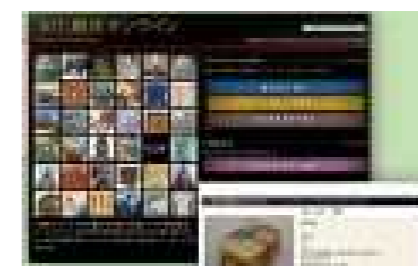


アクセス、モデルコース、アクティビティの予約まで一気通貫した情報発信(イメージ)

### 文化財【文化庁】



History of Nara Park  
Nara Park is a massive area at the foot of Mount Wakuzasa that is full of many sights and things to see. The natural setting includes temples, led by unspoiled woods and a lake full of turtles and carp. The temple complex consists of a large museum-like structure that is the site of the main buildings in Kyoto.

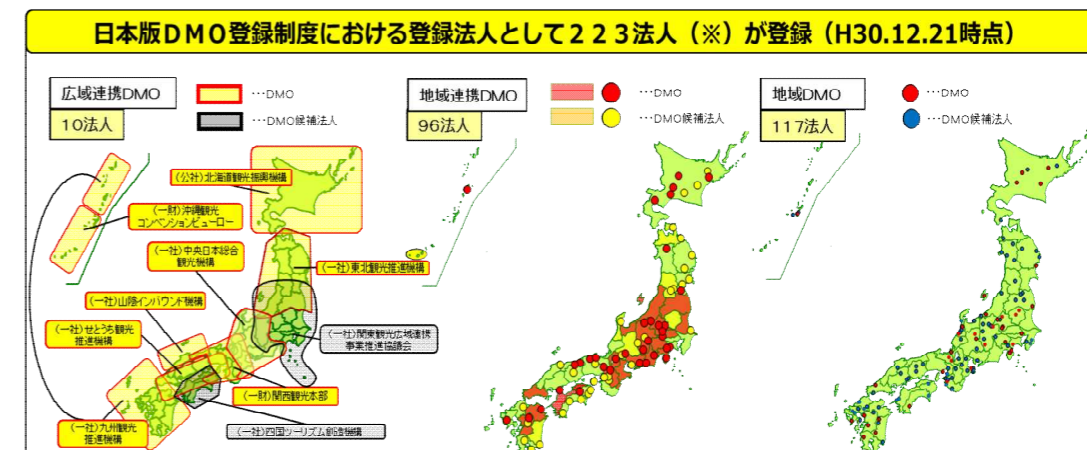


多言語解説、画像・動画、アクセス情報等を集約サイトにて JNTOと一体的に情報発信(イメージ)

### 自治体・DMO

地域とJNTOがそれぞれの強みを活かして協働

地域が発掘し磨き上げた観光資源を、JNTOがターゲット、市場に訴求、発信



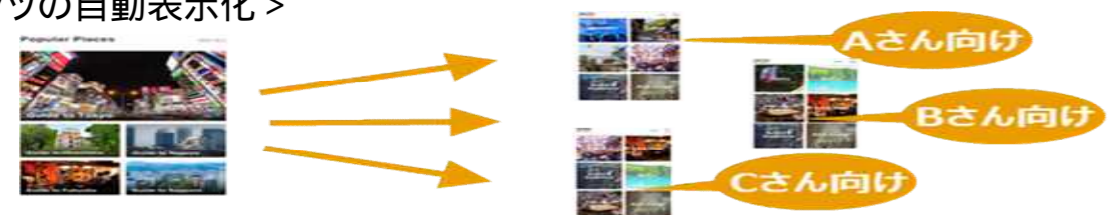
DMO登録数:102法人、DMO候補法人登録数:121法人

## デジタルマーケティングによるプロモーションの高度化

<データの分析・活用>



<コンテンツの自動表示化>



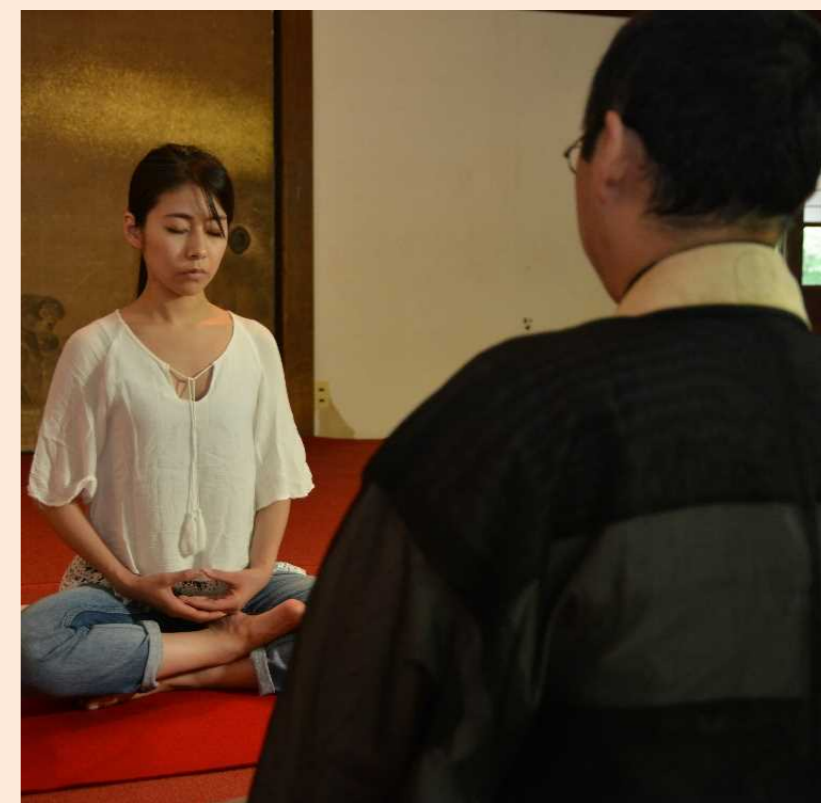
# 地域の新しい観光コンテンツの開拓

インバウンドの増加に伴い、全国各地で、城泊や寺泊をはじめ、地域の創意工夫により新たな観光コンテンツを開拓しようという試みが誕生。こうした取組を国としても積極的に支援し、先行事例を作り上げ、横展開していくことが重要

規制の関係については、古民家活用をめぐる各種規制の見直しにより、規制のハードルは下がっているものの、引き続き、国のイニシアティブにより各種規制の円滑な運用等を促進していくことが重要



城泊



寺泊（写経、座禅体験など）



自然体験



グランピング



夜間の観光資源